

講習の名称：日本語のしくみ  
担当講師：小林英樹（教育学部教授）  
講習開講日：令和2年8月19日（水）  
時間数：6時間

主な受講対象者：

日本語について理解を深めたい国語教諭、日本語について知りたい英語教諭など

キーワード：日本語、文法

講習の概要：

英語の授業で will は「～だろう（でしょう）」と教わるが、新幹線の車内で目にする We will soon arrive at TAKASAKI. という案内を「まもなく高崎に到着するでしょう」と訳したら、変な感じがする（本当に高崎にとまってくれるのか少し不安になる）。この場合は、「まもなく高崎に到着します」と訳すべきだろう。この講座では、日本語の述語に焦点をあてながら、日本語のしくみを考えていく。

講習の展開：

- 第1時限 膠でペチャペチャ  
日本語の述語について解説する。
- 第2時限 「読む」と「読まれる」  
日本語の受身について解説する。
- 第3時限 「読む」と「読んだ」  
日本語のテンス（時制）について解説する。
- 第4時限 「読む」と「読んでいる」  
日本語のアスペクトについて解説する。

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

特にはないが、言葉について興味をもっていること。

授業の形式：講義形式

履修認定試験：

論述形式の筆記試験（プリント等は持ち込み可）

テキスト・参考文献：

プリントを配布する。参考文献は、授業の中で紹介する。